

第5回 武雄市新文化施設エリア整備基本計画策定委員会

日時 令和5年1月16日(月) 13:30~
 場所 武雄市文化会館大集会室B
 委員 小坂智子氏、三島伸雄氏、黒澤伸氏、朝長勇氏、田中友子氏、溝上剛氏、
 井上祐次氏、大島久美枝氏、鳥谷唯氏、山口祐香氏、諸石信幸氏、
 諸岡智恵氏
 武雄市 文化課 松尾教育長
 事務局 こども教育部 文化課 新文化会館整備準備室
 生涯学習課
 シアターワークショップ 伊東、古川、金、伊藤

発言者	主な意見内容
① 基本計画の背景 ② 新文化施設エリアを取り巻く状況 ③ 市民意見・関係団体の集約	
委員①	・これまでの議論が過不足なくまとめられていると感じる。
委員②	・基本計画の背景に公民館を合築するに至った経緯、それに関わる上位計画を記載すべきではないか。現状まちの進化論(文化のまちづくり構想)しか記載がない。各種上位計画の関連図が分かりやすいのでは。
④ 新文化施設エリア整備条件の整理 ⑤ 新文化施設エリア整備の方向性	
委員③	・p.28に災害時の拠点施設とあるが、本文中に具体的に書かれていない。改めて方針を打ち出す必要があるのではないか。市の防災計画とすり合わせた方がよい。
委員④	・p.24-27について、エリアにおける位置づけは問題ないが、近隣施設や市町村、世界とのつながりも必要になる。対外的なつながりの考え方も強調されるとよい。 ・p.25①に「次世代公民館」の方針を記載すべき。新しい形になるという意気込みが記載されるとよい。今のままでは公民館が埋もれている状況。
委員①	・世界に向けて発信していくという志が必要。 ・これまでのコンセプトである「西九州の応接室」にこだわっていないか。嬉野市など周辺市町村からの来訪がないと活性化しない。固有の文化だからこそ世界に発信すべき。p.27の文言を整理するとよい。 ・大項目「5.新文化施設エリア整備の方向性」に中項目が無いため、重要な項目にもかかわらず全体の中で軽く見えてしまう。中項目を設置してはどうか。 ・p.23は課題整理の説明ページについて、「課題→新しい提案→コンセプト」のストーリーになると良い。記載内容を簡略化してよい。 ・p.21(3)留意点について、文末を「～について検討します」とした方が

	<p>よいのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館との融合について。文化施設エリアにおける公民館の方向性が見えない。これまでの社会教育施設に加えてまちづくり機能や交流機能を一体的に整備するということが記載できるとよい。 ・公民館機能のリフレッシュが必要。単なる利用方法や設備のことではない。高齢化が進んでいる中、若い人も対象にするなど、利用者と一体でコンセプトにあった活動をするのが求められる。
委員②	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.23 のページに現状の良い点、武雄の特性も記載してはどうか。 ・ p.8 の施設の成り立ちに公民館について記載がないため、追記が必要。
<p>⑥ 新文化棟・武雄公民館の整備方針</p> <p>⑦ 大ホール棟長寿命化方針</p>	
委員②	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.34 に施設機能をマトリックス的に表現してほしい。縦軸を機能、横軸を文化会館や公民館などの場所とするなど。各諸室機能がどの役割・機能に位置付けられるのかが見えてこない。フリースペースやギャラリー、子育てエリアはどこに属するのか。
委員①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設機能の㎡数は目安なのか。数字が独り歩きする可能性がある。「※基準の数値である」と記載し自由度を与えるなど検討してはどうか。 ・ 単なる「文化」ではなく「文化・アート」と記載している点について、文化と比べてアートというのはより芸術的なイメージ。今後は造形的なものも含め、より広い文化芸術になるという意味合いが含められている。 ・ 文化とアートの意味合いが一貫しているように全体要確認。
委員⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後予算規模が決まっていく。必要機能を整理したものの、各機能の具体的なイメージが分からないと次々と削られてしまう懸念がある。 ・ p.33 の②武雄公民館は、4) の間違いでないか。
委員④	<ul style="list-style-type: none"> ・ p.33 展示可能な有孔壁については記載しない方がよい。悪く言えば安易なやり方。 ・ 小ホール棟を北方文化ホールへ機能を統合するとのことだが、運営者を統合することはあり得るのか。姉妹施設として情報共有しながら運営できるとよい。 ・ p.29「文化・アート」が日本語として混乱しないか。説明書きを加えてもよい。 ・ p.33 その他共用部の㎡数を記載しなくてよいのか。
委員⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アート作品」や「文化的イメージ」は市民に伝わりにくいのでは。 ・ p.24 の内容も含め、文化とアートの使い分けが気になる。
<p>⑧ 管理運営計画の検討</p> <p>⑨ 概算事業案</p> <p>⑩ 整備スケジュール案</p>	
委員①	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業にはこれまで以上の内容が含まれるべき。細かく説明されるとよい。 ・ 早い段階で専門的人材を確保し、基本設計に反映していくという文言を追記できないか。 ・ 管理運営ができる体制と人材が必要。施設計画が先行していく。それにあわせて管理運営計画や人材確保を進めていくことになる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・既存文化団体との関係性はデリケートな問題。これまでの活動にいかにか付与していくか、どう落とし込んでいくかは検討が必要。 ・全体的に、管理運営についての要件として整理されているが、もう一歩踏み込んだ記載があるとよい。
委員④	<ul style="list-style-type: none"> ・運營業務については記載の通りだが、既存公共施設の一般的な考え方に過ぎない。p.49のa~cは文化会館で実装されることになる。d~eは施設以外にも広がる広域的なつながり。外部に対して根を持っていることが必要。施設の中だけで考えてしまう傾向がある。新施設内での仕事に従事している人だけではやりきれない。まちなかのステークホルダーとの関係づくりが重要。 ・p.51にネットワーク構成、中間支援、伴走支援について記載されているとよい。人材バンクや相談窓口機能も重要。 ・先に指定管理者を選定し管理運営を提案してもらいやり方もある。今後の進め方について事務局内で整理する必要がある。 ・金沢21世紀美術館では、基本計画策定後に設計者と事業有識者等が密に話し合いながら検討を進めた。 ・休館中に色々な活動が停滞する。プレイベントなど今の段階から市民協働の取り組みを始めて良い。市民団体をサポートしていくことが文化施設の役割。公共性のある言葉遣いを市民が使っていくように。種まきをスタートしていけるとよい。
委員②	<ul style="list-style-type: none"> ・事業イメージに公民館サークルがいかに入ってくるのか。日常的に市民が関わる、とあるがサークルがそれに関わる方法はあるのか。 ・事業費は税別表記のほうがよいのではないかと懸念がある。 ・スケジュールについて、基本設計と管理運営を同時並行で進めながら適宜反映していくことが見えるとよい。
委員⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで減免利用があったが指定管理者制度が導入された場合、どうなるのかというのは不安な部分。 ・大ホールや青少年棟の休館スケジュールを確認したい。
委員⑧	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップで市民意見を収集してきたと思うが、できること・できないことは明確に記載すべきではないか。 ・運営者選定も並行して進められると良い。運営計画を軸に検討を進めるべき。
委員⑨	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで文化会館は一部の人しか利用してこなかった。にぎわいがあることで、より人が集まってくる施設になることを期待する。 ・利用者にとってはわくわくする計画になっているのではないかと。
委員⑩	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て世代がどのように関わっていけるのか、事業イメージから想定できない。 ・p.28にSDGsへの寄与についての具体的な記載があると良い。
委員⑪	<ul style="list-style-type: none"> ・本会議で貴重な経験ができた。50年後を見据えた新施設を楽しみにしている。
委員⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗状況を可能な範囲で市民に公開してほしい。文化活動に関わる人口を増やすことが大切。

委員⑥	・志は高く、大きい方が良い。目標を提示することが必要。今後のまちづくりの指針になると考える。
委員①	・本日委員の皆さんにいただいた意見を踏まえて修正を加えた最終的な基本計画（案）の内容については、委員長、副委員長に一任する方向で進めて良いか。（委員一同同意）